

臨床研究「心磁図と CT 画像の合成により推定された不整脈起源の推定精度の定量評価
—推定不整脈起源の座標と術中マッピング (CARTO) で同定した最早期興奮の座標間の距離の評価—」
について

筑波大学附属病院循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

この研究は、心室性不整脈に対する心磁図と CT を合成した非侵襲的マッピング法の起源予測の有用性を明らかにするための研究です。心室性不整脈に対する心磁図と CT 画像を合成した非侵襲的マッピング法の有用性の検討 (H28-068) において得られたデータを追加解析します。先行研究においては、CT 情報と心磁図情報をマージすることを主眼に置きましたが、今回の研究においては心磁図情報と 3 次元マップをマージして、心磁図の精度を 1 mm 誤差の単位で再評価します。

② 研究対象者

先行研究 (H28-068) において研究に参加いただいた患者

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2023 年 3 月 31 日まで

④ 研究の方法

心磁図データと 3 次元マッピングシステムのデータを重ね合わせて、位置情報のずれを mm 単位で計測して、心磁図の精度を定量的に検証します。

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

心磁図データ、CT 画像データ、アブレーション治療にて得られた 3 次元マッピング (CARTO)

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

解析は共同研究機関である日立製作所でも実施されます。大学に保管されている情報は CD、DVD に記録され人間によって日立製作所まで移送されます。日立製作所でデータを取り扱う場合は、個人情報情報は匿名化され個人が特定されることはありません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学 医学医療系 循環器内科 吉田健太郎

⑧ 研究機関名および研究責任者名

日立製作所 研究開発グループ（共同研究施設） 神鳥明彦、緒方邦臣

⑨ 利益相反

本研究は日立製作所との共同研究であり、日立製作所から筑波大学へ年間 50 万円の資金提供を受けています。そのほかに利益相反はありません。

⑩ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停

止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑪ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：循環器内科 吉田健太郎

筑波大学 医学医療系 循環器内科 医局

電話：029-853-3142、FAX 029-853-3143

「平日9～17時」